

2013 年度昆虫 DNA 研究会第 10 回研究集会のご案内

(後援: 日本鱗翅学会)

今年も昆虫 DNA 研究会集会の季節が迫ってまいりました。BRH おさむしニューズレターと蝶類 DNA 研究会ニューズレターとの合本が近日中に出版されますが、この合本のお披露目の場にもなる予定です(集会では特別特価で販売予定。詳しくは文末参照)。これに合わせて合本出版を記念したシンポジウムその他、日本列島をめぐる昆虫の分子系統地理に関するシンポジウムが企画されるなど、第 10 回という節目に相応しい充実した内容となっております。一般講演でも昆虫の DNA 解析はもちろんのこと、例年 DNA に関する研究分野以外の昆虫を扱った興味深い研究も多数発表されます。開催地の東京大学本郷キャンパスは交通の便の良い所でもありますので、プロ・アマ問わず、みなさま奮ってご参加下さい。

日程等

日程: 2013 年 5 月 25 日(土)、26 日(日)

集会会場: 東京大学本郷キャンパス理学部 2 号館 4F 大講堂

参加費: 1,000 円

懇親会会場: 東京大学山上会館地下 1F 御殿食堂

懇親会: 5,000 円

参加について

◆参加申し込み

お名前、所属(ある場合)、連絡先、懇親会の出欠を下記の方法でお知らせ下さい。締め切りは 5 月 10 日(金)です。

◆参加の申し込み先

世話人(矢後勝也)まで下記のいずれかの方法でお願い致します。

Eメール ... myago@um.u-tokyo.ac.jp 電話(研究室直通) ... 03-5841-8455

プログラム概要

◆5 月 25 日(土)

13:00 ~ 15:20 シンポジウム 1: おさむし&蝶類 DNA 研究会ニューズレター合本出版を記念して

「合本編集こぼれ話」大場裕一(名古屋大学)

「アクベスマヤマ、オオカブト、トリバネアゲハ...巨大昆虫生成機構をめぐる一仮説」

柏原精一(サイエンスライター、科学朝日元編集長)

「昆虫(むし)と寄生虫(むし)」岡本宗裕(京都大学)

「蝶類 DNA 研究会の頃」毛利秀雄(東京大学・基礎生物学研究所名誉教授)

15:30 ~ 17:45 一般講演

「ミトコンドリア内ND5 遺伝子の塩基配列解析による人為的に放流されたゲンジボタルの自然発生源の類推」草桶秀夫（福井工業大）

「*Aparammoecius* 亜属の日本固有マグソコガネ 2 種についての歴史生物地理学的な研究-ミトコンドリア DNA の COI 領域を用いた比較-」大塩一郎・野中 勝（東京大）

「分子系統解析によるミノガ類の翅形質の退行的進化パターン」新津修平・林 文男（首都大）

「シャチホコガ科の亜科分類」小林秀紀・野中 勝（東京大）

「ヒメジャノメ属とウラナミジャノメ属の琉球での異所的種分化」遅沢壮一（東北大）

「サハリンのチョウの分子系統地理—日本の高山チョウのルーツと渡来ルートを求めて—」宇佐美紀人・上田昇平・中谷貴壽・伊藤建夫・宇佐美真一（信州大）

「韓国産シルビアシジミの *Wolbachia* 感染と遺伝的多様性の調査」坂本佳子・平井規央・矢後勝也（東京大）・石井 実（大阪府大）・李 哲敏（名古屋大学）

「タンパク質コード遺伝子に基づくハダニ類の系統関係」松田朋子（茨城大）・鈴木美穂（基生研）・野田博明（生物研）・石井一夫（農工大）・古崎利紀（農工大）・後藤哲雄（茨城大）

「複数の核遺伝子による多足亜門の系統解析」宮澤秀幸（大阪大）・蘇 智慧（JT 生命誌研究館）

18:30 ~ 20:30 懇親会

◆5月26日（日）

9:30 ~ 12:20 シンポジウム 2：日本列島をめぐる昆虫の分子系統地理

「Phylogeography of butterflies in Japan: case studies of *Tongeia fischeri* and *Maculinea teleius* (Lepidoptera: Lycaenidae)」Ekgachai Jeratthitikul（京都大）

「水生昆虫の分子系統地理からみる日本列島とアジア大陸の関連性」東城幸治（信州大）

「DNA解析による日本のアゲハチョウ類の分布形成の推定」八木孝司（大阪府立大）

「イチジクコバチとイチジク植物の地域的分化」蘇 智慧（JT 生命誌研究館）

「招待講演」冷温帯林の昆虫の遺伝的分化と種分化」久保田耕平（東京大）

12:20 ~ 13:30 昼食

13:30 ~ 14:00 総会

14:00 ~ 16:25 一般講演

「捕食性天敵ヒメハナカメムシ *Orius* の餌メニュー解析からみえてきたこと」三浦一芸・安部順一郎・世古智一（近中四農研センター）

「日本固有科・ガガンボカゲロウ科の分子系統地理学的研究」竹中將起・東城幸治（信州大）

「カメノコヒメトビケラ類の分子系統地理学的研究」新井谷梨鈴（東京大）・伊藤富

子（北海道水生物研）・東城幸治（信州大）

「スカシシリアゲモドキにおける形態的多型の進化プロセス究明」鈴木智也（信州大）・鈴木信夫（日本女子体育大）・町田龍一郎（筑波大）・東城幸治（信州大）

「アナナスショウジョウバエ類における種間遺伝子浸透の分子生物学的証拠：ペナン島（マレーシア）集団の事例」澤村京一（筑波大）・佐藤 玄（杏林大）・李 昭揚（マレーシア科学大）・上村佳孝（慶応大）・松田宗男（杏林大）

「日本列島に生息するクワコ集団の遺伝的分化」行弘研司・岩田和也・河本夏雄・富田秀一郎・木内 信（生物研）・伊藤雅信（京都工繊大）・伴野 豊（九大）

「熱帯アジアのフタオチョウ属 *Charaxes* における最近の DNA 研究と形態分類 (Lepidoptera: Nymphalidae)」勝山礼一郎（東京大）

「東洋区のインドシナ亜区-スンダ亜区間におけるチョウ類の種分化とその年代推定」矢後勝也ほか（東京大）

「台湾産キチョウ 2 型の季節型反応・寄主選好性・分子系統」加藤義臣（ICU）・成田聡子（筑波大）・矢田脩（九州大）・徐 堉峰（台湾師範大）

16:25 ~ 17:00 総合討論

アクセス

◆東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目駅」徒歩 3 分／都営大江戸線「本郷三丁目駅」徒歩 1 分。集会会場（東京大学理学部 2 号館）へは東大懐徳門（かいとくもん）から入るのが便利です。懐徳門を入り、すぐ左側の建物です。 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_02_j.html

◆懇親会会場（山上会館）は集会会場から徒歩 5 分で、本郷キャンパス中央にある三四郎池のすぐ裏側です。 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

◆駐車場はございませんが、周辺にコインパーキングがございますので、そちらをご利用下さい。

その他の集会に関する問い合わせ先

前述の「参加の申し込み先」欄にある E メールアドレスまたは電話でお問い合わせ下さい。

（世話人：矢後勝也、東京大学総合研究博物館）

BRH おさむしニュースレター
蝶類 DNA 研究会ニュースレター 1995～2004 合本
出版のお知らせ

昆虫 DNA 研究会ではその 10 周年を記念して、出版物を企画しました。内容は、本会の前身である JT 生命誌研究館オサムシ研究グループと蝶類 DNA 研究会から 1995 年から 2004 年のあいだに刊行されたニュースレターをすべて一冊にまとめました合本です。さらに、大澤先生、毛利先生をはじめとした 9 名の方々からの特別寄稿も特別収録。当時の昆虫 DNA 研究をリードした歴史的グループのリアルな歩みが手に取るようにわかる貴重な資料となっています。複写原稿には僅かに残されていた当時のオリジナル印刷物を用い、カラーページはすべてそのまま再現。総ページ数 666 ページの豪華本です。なお、刊行は 2013 年 5 月の予定です。



初版は、一冊 2,950 円 (送料込み) で販売いたします。

また、5 月 25～26 日開催の研究集会会場 (東京大学) では、特価 2,500 円での販売とお引き渡しも行います。こちら販売部数に限りがありますので、事前にご予約を頂けると確実にお渡しできるかと思えます。

事前のご予約、ご購入を希望される方は、昆虫 DNA 研究会事務局の大場まで、手紙、FAX、e-mail などでお申し込みください。ただし、印刷部数に限りがありますので (300 部) ご注文順のお渡しとなりますことをご了承くださり、どうぞお早めにお申し込みください。

▶ご予約・お申し込み先

昆虫 DNA 研究会事務局・大場裕一 (おおばゆういち)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科 分子機能モデリング研究室
内 昆虫 DNA 研究会事務局 Tel/fax : 052-789-4280 (研究室) , email : insectdna@gmail.com